

私立高校の入試への受験体制づくり
- 躰(しつけ)と過去問勉強を -

開倫塾 塾長 林明夫

Q：1月初旬から一斉に行われる私立高校の入試に向けての受験体制は、どうすればよいですか。

A：私立高校入試に限らず、あらゆる入学試験で学校側が見るのは学力だけではありません。受験生の人格・態度がその学校にふさわしいかどうかも観察されています。

Q：どうしたらよいですか。

A：躰(しつけ)を身につけるよう努めて下さい。

躰とは「美しい立居振舞い」と「敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)」を意味します。

美しい立居振舞いには、髪型や服装も含まれます。茶髪や下着の見えるようなだらしない服装では合格は難しい。

面接試験などでは、「です・ます調」の丁寧語など敬語表現で話すことが大切です。言い争いをしたり、試験中にうつ伏せになって眠ってしまうことのないようにしましょう。

入試では、朝、学校の校門に入ってから、校門を出るまでが試験と考えて下さいね。

Q：試験問題の対策はどうしたらよいのですか。

A：県立高校の入試と異なり私立高校では各学校がすべて独自の出題をします。学校によって出題の方法や傾向が違います。

そこで、受験する私立高校の「過去問」、つまり、過去数年間に出版された問題を勉強することが大切。

Q：過去問はどのように勉強すればよいのですか。

A：最低でも3年分、できれば6年から10年分の過去問を、制限時間内に解答してみましょう。

解答してみて、一つ一つの問題についてなぜこの問題は正解できて、なぜこの問題は正解できなかったか、よく理由を自分で考えることです。

時間が足りず解答できなかった場合は、問題練習を繰り返しも、解答スピードを上げること。

問題の内容自体がよく理解できなかった場合は学校の教科書や参考書で基礎から学び直すこと。

私立高校の問題には超難問が時々入っています。できる問題で確実に得点することを覚えて下さいね。マークシートでの解答にも慣れましょう。